

東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、幾多の困難に遭われた皆々様に心からお見舞いを申し上げます。

本日は東北大学交響楽団第 161 回定期演奏会にお出で下さいまして、誠にありがとうございます。

当団は前回の第 160 回定期演奏会でヴェルディのレクイエムを取り上げました。指揮を執って下さいました作曲家の岡崎光治先生、東京藝術大学教授で二期会会員でもいらっしゃる多田羅迪夫先生他、日本を代表するソリストの先生方、そして東北大学楽友会文化部部长で男声合唱団 OB の末光眞希先生を団長として組織された仙台ヴェルディ合唱団の皆々様のお力添えを頂いての鎮魂演奏でした。この場にて、心からの感謝を捧げます。団員および関係者一同、これからも震災で被害に遭われた方々への思いを音楽に託し、復興道半ばの郷土の一隅を照らしてまいります。

震災で練習場を失った当団ですが、大学よりいただいた暫定的な練習場のおかげで充実した活動を続けることができております。総長の里見進先生、学友会文化部部长の末光眞希先生、当団部長で@@@@@の@@@先生のご高配に心から感謝申し上げます。また、当団の将来を見据えた温かいご支援を賜っております当団同窓会副会長で東北大学名誉教授の高坂知節先生に厚く御礼申し上げます。

当団音楽顧問の菊地健夫先生には、現役の学生は勿論、学生の近くに身を置き若い世代に伝統を伝えていこうと志す卒業生一同に至るまで、心のこもったご支援を頂戴しております。感謝に堪えません。わたくしも日ごろ、たくさんの示唆に富んだご指導をいただいております。今日は課題をたくさん積み残しての本番となってしまうそうですが、理解の遅いわたくしは、菊地先生からいただいたアドバイスを何年もかけて咀嚼し身体と脳にしみこませております。また、当団定期演奏会でショパンのピアノ協奏曲のソリストを務めて下さった西えりか先生には、室内楽曲の共演で生涯の財産となる経験をさせていただいております。深い感謝を捧げます。

交響詩「高い城」のソロをお引き受けくださいました客演ハーピストの中村由美子先生には、演奏会の準備段階からありがたいお心遣いをたくさん頂いております。聴衆の皆様には、中村先生のお人柄そのままの深い慈愛に満ちた演奏にご期待くださいますよう。

裏方で尽力する諸君も含め、当団の学生諸君全員の献身在舞台上で実を結ぶよう、精一杯振らせていただきます。